

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【大学院 アドミッションポリシー】	
東京農業大学大学院は、農学あるいは生物産業学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における基礎的または高度な問題を自立的に解決できる人材を育成します。このために、本大学院では次のような学生を求めています。	
博士後期課程	(1) 希望する専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。 (3) 研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 研究者・教育者あるいは高度な専門家として、国際的にも社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
【研究科 アドミッションポリシー】	
農学研究科	農学研究科博士後期課程は、農学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。 (1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。 (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
応用生物科学研究科	応用生物科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした応用生物科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。 (1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程・修士課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。 (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
生命科学研究科	生命科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした生命科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。 (1) 希望する専攻分野にかかわる修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。 (3) 研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 研究者、教育者など高度専門職者として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
地域環境科学研究科	地域環境科学研究科博士後期課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する高度専門知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法に関して、また持続可能な地域づくりの推進に関わる高度専門研究者の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。 (1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識を有している。 (2) 環境に関する諸問題の研究に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。 (3) 研究に自らチャレンジする意欲を有している。 (4) 他者との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している。
国際食料農業科学研究科	国際食料農業科学研究科博士後期課程は、食料農業科学とその知見の現場への適応を通じて国際的視野に立った社会貢献に対する意義を理解し、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。 (1) 食料・農業・環境領域の当該専攻分野における修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 当該専攻分野に関する研究に対する強い関心を持ち、研究者、教育者あるいは専門家として研究成果を国内及び国際社会に還元し、貢献しようとする広い視野、明確な問題意識及び強い意欲を有している。
生物産業学研究科	生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。 (1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。 (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【専攻 アドミッションポリシー】	
農学	農学専攻博士後期課程は、農学に関する専門的な学識と基礎的な研究能力を有し、将来、農学における専門職業人・研究者として活躍し、地域社会や国際社会に貢献しようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) 農学全般および各専門分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外において研究活動を実施、成果を発信できる複数言語の語学力を有している。 (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。
動物科学	動物科学専攻博士後期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、様々な問題に対して高度な解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) 畜産・動物科学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関するより高次元な専門的知識・技能を獲得し、国際的に活躍することに関する強い意欲がある。 (3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。 (4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。
バイオセラピー学	バイオセラピー学専攻博士後期課程では、社会に潜む解決すべき課題を見出し、高度な専門知識と技術に基づいた研究によって立証し、その解決に向けた方策を社会に提言できる自立した研究者または教育者となる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) バイオセラピー学分野における学修が可能な大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 農学を基盤とした動植物または人の健康や福祉に関する確かな専門知識を有している。 (3) バイオセラピー学の学理を追及し、時代を切り拓くための意欲がある。 (4) 国際的に活躍できる研究者、高度専門職業人を志している。
生物資源開発学	生物資源開発学専攻博士後期課程では、生物多様性と生物資源の保全および利活用に興味を持ち、未来に安心して託せる地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献する高度な人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) 生物資源開発学分野における学修が可能な修士課程または博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 生物資源開発学分野における学修や研究活動を可能にする語学力を有している。 (3) 専門的な学修や研究活動を可能にする高いコミュニケーション能力を有している。 (4) 生物多様性や生物資源に関心を持ち、その保全・管理および開発に関わる様々な課題の解明に取り組み、かつ国際的に活躍できる高い意欲を有している。
デザイン農学	デザイン農学専攻(博士後期課程)では、既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる自立した研究者または教育者となる人材を養成することを目的とする。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) デザイン農学分野における学修が可能な大学院修士課程及び博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 国内外におけるデザイン農学分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) デザイン農学分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) デザイン農学分野に対する強い関心を持ち、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術や新機能性製品の開発とそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会をデザインすることによる、新たな価値に基づく持続可能な社会の構築に高い意欲がある。 (5) 国際的に活躍できる研究者・教育者を志している。
農芸化学	農芸化学専攻博士後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) 農芸化学の諸分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2) 食・健康・環境に関わる研究を推進できる知識と技術を有している。 (3) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる語学力を有している。 (4) 研究者や高度専門職業人としての活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (5) 農芸化学の諸分野における研究者や高度専門職業人としてリーダーシップを発揮し、独創的な発想と問題解決に取り組む意欲がある。
醸造学	醸造学専攻博士後期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、研究者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味がある。 (2) 微生物学的または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の分野に研究者として携わることを志している。 (3) 醸造学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓にチャレンジする意欲がある。
食品安全健康学	食品安全健康学専攻博士後期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして高度に指導的な立場で社会に貢献したいとする強い意志と国際的な視野をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが課題を発見し、主体となって解決したいという強い意欲を有している。 (2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、国際社会に貢献したいという意欲を有している。 (3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断し、国際的な場で発表する素養がある。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【専攻 アドミッションポリシー】	
食品栄養学	食品栄養学専攻博士後期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門的知識および研究能力を獲得し、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、広く国内外でリーダーとして活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)食品学や栄養学分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2)問題設定および問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲がある。 (3)国内外に研究成果を発信できる語学力を有し、社会に貢献しようとする強い意欲がある。 (4)高度な専門家として活躍しうるコミュニケーション能力を有している。
バイオサイエンス	バイオサイエンス専攻博士後期課程では、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、生命科学分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)生命科学分野にかかわる修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。 (2)国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。 (3)研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4)生命科学分野における研究者、教育者など高度専門職者としてリーダーシップを発揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
分子微生物学専攻	分子微生物学専攻博士後期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、分子微生物学分野に期待される近未来的な問題を解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。 (1)生命科学分野における学修が可能な大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2)国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3)豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4)微生物学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。
分子生命化学専攻	分子生命化学専攻博士後期課程は、化学の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、分子生命化学分野における高度な問題を解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)分子生命化学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2)国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる基礎的な語学力を有している。 (3)研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4)分子生命化学分野における研究者、教育者あるいは高度な専門家としてリーダーシップを発揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
林学	林学専攻博士後期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)林学、林産学などを基礎とし、森林資源保全学、森林環境工学、森林資源利用学、森林社会科学などの専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな知識と研究能力を有している。 (2)生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を有している。
農業工学	農業工学専攻博士後期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、研究者または高度な技術者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に深い興味を有している。 (2)農業工学の専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の高度な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に、研究者として、また高度な技術者として、貢献したいという強い意欲を有している。 (3)農業工学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓に挑戦する意欲を有している。
造園学	造園学専攻博士後期課程は、都市から自然地域における快適環境をもたらすための課題解決能力や造園学に関連する高度な学識と研究能力を有し、地域社会や国際社会において研究者、教育者、技術者として活躍、貢献、評価される人材を育成する。本専攻では次のような学生を求めている。 (1)造園学及び関係専門分野において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな学力を有している。 (2)国内外において十分な研究活動を実施・展開し、その成果を広く社会に発信できる語学・文章・表現力を有している。 (3)研究者、教育者、高度な専門技術者として活躍し、良好な関係性を構築できるコミュニケーション能力を有している。 (4)造園学の専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と強い学修意欲を有している。
地域創成科学	地域創成科学専攻博士後期課程では、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生するために、地域創成科学に関する高度な専門的応用知識と研究能力を身に付け、地域社会が抱えるさまざまな課題を解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)自然再生と地域マネジメントに関する専門領域について、修士課程修了程度の基礎学力および研究能力を有している。 (2)農山村地域が抱える課題の解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【専攻 アドミッションポリシー】	
国際農業開発学	国際農業開発学専攻博士後期課程は、広範な学問領域を統合する総合的アプローチと実践的で国際的な視野を修得し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めています。 (1)国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持ち、未解決の問題の解決にリーダーシップを発揮して取り組むことに強い意欲を有している。 (2)自然科学と社会科学の両領域にわたる総合的な知識のレベル(修士課程又は専門職学位課程修了程度)と、今後の知識修得への意欲を有している。 (3)異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している (4)国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。
農業経済学	農業経済学専攻博士後期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識や研究方法を修得している。 (2)第二言語として英語または日本語のより高度な運用能力を有している。 (3)研究資料を得るためにコミュニケーション能力を有するとともに、それらを緻密に整理できる能力を有している。 (4)食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって率先して問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。
国際アグリビジネス学	国際アグリビジネス学専攻博士後期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における複雑な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)一定の語学力とアグリビジネス学にかかわる基礎理論及び基本的研究手法を修得している(修士課程又は専門職学位課程修了程度)。 (2)新たな理論の開発やフィールド研究に取り組む意欲を有している。 (3)アグリビジネス学においてグローバルな貢献を目指している。
国際食農科学	国際食農科学専攻博士後期課程では、国際食農科学に対する深い理解の上に、専門分野における困難な問題を自立的に解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。 (1)国際食農科学の当該分野における学修が可能な大学院修士課程修了程度の学力を有している。 (2)国内外における学修や研究活動を可能にする高い語学力を有している。 (3)高度な学びと人間関係の構築を可能にする高いコミュニケーション能力を有している。 (4)国際食農科学の発展への貢献に強い意欲を持ち、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする専門性の高い問題意識と学修に対する強い意欲を有している。
生物産業学	生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。 (1)生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2)国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。 (3)研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4)研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。